

和歌山だよい

平成29年
(2017) 6月号



ツール・ド・熊野 (太地町)

国際自転車競技連合公認の国際大会として、「ツール・ド・北海道」、「ツアー・オブ・ジャパン」と並び、国内外から自転車のトップ選手が集まる「ツール・ド・熊野」。

写真は6月4日の「3rdステージ 太地半島周回コース」のレースの様様です。

県では、『サイクリング王国わかやま』として、サイクリングロードの整備をはじめ、サイクリストにやさしい受入体制の整備を進めています。

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2～P11
3. お知らせ…………… P12～P16
4. ふるさと歳時記…………… P17～P19



交通安全

4月6日県庁玄関前で春の全国交通安全運動の出発式が行われました。交通事故は、元気な方が突然命を奪われたり、けがをされたりしますので、被害者本人はもとより、その家族の方々、更に時には加害者やその家族にとっても大変な悲劇です。このため、事故と被害防止に当たる警察や県庁当局者の他に交通安全協会、交通安全母の会、交通指導員会、地域交通安全活動推進委員連絡協議会などに属する多くのボランティアの方々が一生懸命啓発や交通安全指導に努めて下さっており、本当に感謝しております。おかげさまで和歌山県の交通事故件数は年々下がってきており、また、交通事故死者数も減少傾向ではあります。

しかし、命が突然奪われるということは何にもまして避けなければならないことであるし、和歌山県は高齢化が全国平均より進んでいることから事故リスクも高まってきていますので、手を抜くわけにはいきません。また和歌山県はかつて飲酒運転死亡率全国一という、ありがたくない記録を作ってしまった、県民をあげて飲酒運転防止に取り組んだ結果、飲酒運転による死亡者ゼロを達成したこともあるのですが、また少し油断が出ている気がします。

このため県民皆で努力をしなければならないのですが、この分野で1つ全国に誇るべきものがあります。それは音響信号機の設置率が20.6%で全国トップであるということです。歩行者用の信号機がピヨピヨと言って信号の中味を告げてくれるあの装置です。目の不自由な人にはとても役立つと思います。既に25年も全国一を続けているそうです。これには、この交通安全運動の際に授与式を行う和歌山放送による継続的な寄付が大変効果を及ぼしています。1986年からずっと寄付を続けてこられた和歌山放送も立派ですが、これに協賛して募金に応じて下さった方々にも心から感謝を申し上げたいと思います。



5/17 知事室にて

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●知事が台湾を訪問

知事は、観光客誘致と県産品の販路拡大を目的としたトップセールスのため、6月7日から6月9日の日程で、台湾を訪問しました。

観光については、これまで多かった団体客から、次のステップとして、個人客をターゲットとする必要があると考えられるので、その方面にアピールするようなソフトを提供するため、台北市内にある「紀州庵」（台北市の重要文化財に指定されている和歌山県ゆかりの建物）において、現地の旅行会社やメディア関係者に県内観光地を紹介するセミナーを開催するとともに、台湾の大手旅行会社を訪問し、和歌山ならではの体験型観光の提案など積極的なPRを行いました。

県産品の販売促進については、台湾国内で、和歌山県の物産を取り扱ってくれる企業などとの流通ネットワークをつくるため、日本食品輸入卸商や小売企業を訪問し、県産品の紹介や今後の販路拡大に向けた意見交換を行いました。また、ビジネスミッションの参加企業とともに、日本の経済産業省にあたる台湾経済部を訪問し、平成26年2月に同経済部台日産業連携推進オフィスとの間で締結した覚書に基づき、今後より一層の協力を要請するなど意見交換を行いました。

また、本県とゆかりのある国立台湾大学図書館や国立国父記念館を訪問し、蔵書や展示物の視察や各館長と意見交換を行いました。

県産品輸入卸商及び小売企業へのトップセールス

今後の県産品の取扱い拡大に向けて意見交換を行うために、知事は、尾崎県議会日華親善議員連盟会長らとともに、台湾の高級百貨店内スーパーに太い販路を持つ商田實業有限公司や、高級小売店のシティ・スーパー本社を訪問し、まりひめプレミアム「毬姫様」や「本格梅酒」などの紹介を行いました。



シティ・スーパー本社にて

旅行事業者へのトップセールス

知事は、岡本九度山町長や県内観光事業者とともに、和歌山県への多数の送客実績を持つライオン・トラベルや喜鴻^{きこう}旅行社を訪問し、果物狩りやサイクリング、ゴルフや世界遺産エリアでのウォーキングなど体験型観光の提案を行うとともに、台湾からの旅行客の個人旅行化など、最近の訪日旅行の状況について意見交換を行いました。



ライオン・トラベルにて

観光セミナー及び個別商談会（於：紀州庵）

和歌山県ゆかりの文化施設「紀州庵」において、台湾における和歌山県の知名度向上を図るため、豊かな観光資源や体験型観光プログラムについて、台北市観光傳播局、旅行会社、メディアなど関係者に対し、知事と岡本九度山町長からプレゼンテーションを行いました。

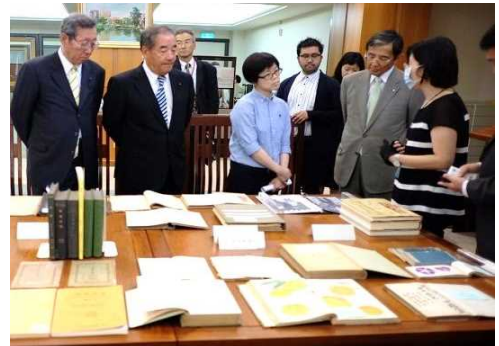
その後、県内自治体・観光事業者が個別ブースに分かれ、商談会を実施。旅行会社やメディア関係者に最新の観光情報を提供するなど積極的なプロモーションを行いました。



紀州庵にて

国立台湾大学図書館訪問

知事は、尾崎会長らとともに、国立台湾大学図書館を訪問し、南方熊楠と交流のあった世界的な柑橘分類学者、田中長三郎氏（戦前の台北帝国大学初代図書館長）が収集した「蜜柑乃紀州」など、貴重な書籍や植物標本が多く保存されている「田中長三郎文庫」を視察し、陳光華^{ちん・こうか}図書館長や関係者と同大学が企画中の展示等について意見交換を行いました。



国立台湾大学図書館にて

国立国父記念館訪問

孫文と交流のあった南方熊楠の展示が新たに加えられた資料展示室を見学するため、知事は、尾崎会長らとともに台湾建国の父「孫文」の生誕100年を記念して1972年に建設された国立国父記念館を訪問し、林國章^{りん・こくしょう}館長や関係者と意見交換を行いました。

今年4月、孫文の研究団体である中華民国中山學術文化基金会的許水徳^{きょ・すいとく}董事長らが来県し、南方熊楠記念館と南方熊楠顕彰館を視察したことが契機となり、今回の展示が実現しました。



意見交換の様子



南方熊楠の資料展示

●平成29年度和歌山県知事表彰式を開催しました

5月30日、「平成29年度和歌山県知事表彰」挙行し、45名、7団体の方々に、知事から表彰状と記念品を贈呈しました。

和歌山県知事表彰は、公共の福祉増進に大きな功労のあった方、その他広く県民の模範となるべき方を表彰しております。昭和28年から始めて、今回で65回目となります。

知事は、式辞の中で「これまで和歌山県をあらゆる場面で支え続けてくださった、まさに、人の鑑ともいふべき立派な方々。お一人お一人の地道な活動が、今日の和歌山県の礎を築いてこられた」と祝意を述べました。

受賞者を代表して公益財団法人南方熊楠記念館名誉館長である荒俣宏氏は、受賞に対するお礼とともに、「今日の受賞者の方々の心境は、かつて昭和天皇にご進講された南方熊楠が、帰宅後直ちに妻を連れて写真館に赴き、写真を撮った日の緊張感や晴れがましさと同じですね」と述べられ、また、「和歌山県は、かつて海運が栄えていた時代に色々な物事を漁法とともに各地へ伝えており、物事のルーツをたどれば、大抵のものは和歌山につながる。そんな素晴らしい和歌山をもっと皆さんに知って欲しい」と述べられました。

なお、受賞者は以下の方々です。

【知事表彰受賞者】（順不同・敬称略）

（地方自治の振興）地方自治の育成・発展に尽くされた方々

高尾 通雄、田村 武

（保健福祉の増進）地域の福祉や医療、保健衛生の向上に尽くされた方々

中川 武正、初山 昌平、新垣 勝、木村 幸夫、柳岡 楠美、酒本 紀美子、
杉本 昌子、上田 幸雄、竹中 昭美、寺下 浩彰、田村 康一、森 益男

（環境衛生の向上）環境整備や食品衛生向上に努め、環境衛生の発展に尽くされた方々

貴志 修三、堀江 邦彦、山根 博、原 禎一

（暮らしの安全及び向上）地域の交通安全や防犯活動、防災活動、運輸業などを通じ、
県民生活の安全と向上に尽くされた方々

時松 順子、鳥居 守、辻澤 比佐子、崎山 光一、狩谷 典男、中瀬 明



表彰状贈呈の様子



代表者挨拶（荒俣宏氏）

(教育、文化等の振興) 芸術・伝統技術を通じ他地域文化の振興、国際交流の進展、
教育の充実、人権啓発活動に尽くされた方々

武田 尚子、荒俣 宏、デービッド・アトキンソン、和歌山県民謡連合会、
前岡 哲也、田辺第九の会、藪添 泰弘、平野 真理、松下 稔、辻本 將典

(産業の振興) 商工業・農林水産業・建設業などでの活動を通じ、業界の振興及び育成発展に
尽くされた方々

小川 勝美、石田 侃、丸山 昌三、川端 隆也、築野 富美、請川 孝治、
北原 正、和歌山県林業研究グループ連絡協議会女性林研部会、狩谷 実男、
木下 吉雄、朝間 諭、佐藤 和夫

(ボランティア) 精力的なボランティア活動により社会福祉の増進に尽くされた方
多田 佳幸子、特定非営利活動法人花いっぱい推進協議会

(地域興し) 様々な分野で新たな取組により地域の活性化に尽くされた方々
宮本 照代、安居の渡し保存会、紀州九度山手作甲冑真田隊、
湯浅伝建地区保存協議会

●旧和歌山県会議事堂が重要文化財に指定されます

このたび、5月19日の国の文化審議会の答申により、旧和歌山県会議事堂が重要文化財に指定されることが決定しました。

旧和歌山県会議事堂は、明治31年(1898)和歌山市に建設された「和歌山県会」の議事堂です。

当時の県庁の庁舎は木造二階建ての洋風意匠でありましたが、議事堂は同じ木造でありながら和風意匠が採用されました。洋風の構造を取り入れながら和風意匠でまとめた時代の特徴をよく表した建物で、明治期の木造和風意匠の県会議事堂としては、現存する唯一の建物であり、文化財としての価値が高いとされています。

明治から昭和までの県政の中核施設として重要な役割を果たした一方、公会堂としても利用され、特に明治44年(1911)の文豪・夏目漱石による「現代日本の開化」と題した講演は有名です。

その後、昭和13年の現県庁舎完成に伴い売却されることになり、根来寺(岩出市)の敷地内に「一乗閣」の名称で移築され、集会や合宿の施設として親しまれていました。



旧和歌山県会議事堂(正面)

今月の和歌山県政トピックス

老朽化が進み、解体も検討されましたが、県は保存を決め、平成17年に県有形文化財に指定。その後、平成24年～27年度の修復工事により、岩出市根来の現在地に移築され、建築当時の姿に復原されました。

今後は、この指定により歴史的価値が再認識された旧議事堂を、様々な行事等でも使用し、国内外の皆さんに知っていただくとともに、これからも、古き良き時代からの遺構を大事にしていきたいと思っています。



かつての議会の様子（「社会画報」昭和13年1月に掲載）

●ねんりんピック紀の国わかやま2019実行委員会を設立

県では、高齢者を中心とするスポーツ・文化・健康・福祉の総合的な祭典である「全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）」を、平成31年11月9日（土）～12日（火）の会期で開催します。

このたび、開催を2年後に控え、全県を挙げて大会の準備・運営を進めるため、県内の各界を代表する170名の方々の参画を得て「ねんりんピック紀の国わかやま2019実行委員会」を6月6日に設立しました。



設立総会の様子

大会テーマを「あふれる情熱 はじける笑顔」とし、スポーツや文化の交流大会27種目を県内21の市町で開催することや、会期中に開催する様々な福祉・健康・生きがいに関するイベントを行うことを「基本構想」に盛り込みました。このうち、「合気道」は、開祖植芝盛平の生誕の地である田辺市において、ねんりんピックとしては史上初めて開催されます。

なお、県では、平成29年度の「全日本マスタース陸上競技選手権大会」、平成31年度の「ねんりんピック」、平成33年度の「国民文化祭」や、関西圏全体で開催される「ワールドマスタースゲームズ2021関西」などのビッグイベントを続けて開催し、スポーツ・文化による地域振興で、わかやまを盛り上げてまいります。



 第32回全国健康福祉祭和歌山大会
ねんりんピック紀の国わかやま2019

あふれる情熱 はじける笑顔

平成31年11月9日(土)～12日(火)

● I Rの設置要件について政府に要望書を提出

政府の平成30年度予算編成を前に、知事は県幹部とともに各省庁を回り、58項目の要望、提案を行いました。

その中で知事は、I R（カジノを含む統合型リゾート施設）推進本部の本部長補佐を務める杉田和博官房副長官を訪問し、I Rに関する県の意見をまとめた要望書を提出しました。



本県関係国会議員への説明会の様子

政府の有識者会議が示す、カジノ施設以外の中核施設として、国際競争力を有する大規模な会議場や展示場などの設置が条件とされることがやI Rの認定区域数が設定されることについて、知事は「地方都市で要件を満たすことは極めて困難」、「認定区域が大都市にとどまった場合、地方創生にはつながらない」と指摘しました。また、I Rの推進による地域経済の振興が法の目的となっていることを踏まえ、地方でも地域の特性を生かしたI Rを実現できるような制度設計を行うよう求めました。

また、知事は、これに先立ち、二階幹事長や石田議員、門議員、世耕経済産業相、鶴保沖縄北方担当相ら県内の国会議員と意見交換を行い、県への積極的な支援をお願いしました。

●国際大会のアジアツアーの一つ、「ツール・ド・熊野」開催

国内外の自転車のトップ選手らが熊野路を走る、第19回「TOUR de 熊野（ツール・ド・熊野）」が6月1日～4日に開催されました。

ツール・ド・熊野は、第10回大会から、国際自転車競技連合公認のレースとして国際大会に認定されており、「ツール・ド・北海道」、「ツアー・オブ・ジャパン」などとともにアジアツアーの一つとして位置づけられています。

同大会は、NPO法人SPORTS PRODUCE 熊野（理事長 角口賀敏氏）が主催し、和歌山県サイクリング協会、全日本実業団自転車競技連盟のほか、各新聞社が後援、国、県、開催地市町村や県内企業各社が協力する、まさに和歌



選手と応援に駆けつけた子供たち



スターターの知事と合図を待つ選手

山県を挙げての開催となっています。



1stステージの様子（赤木川清流コース）

6月2日、第1ステージスターティングセレモニーでは、JR新宮駅前では知事から選手への激励のあと、スタート地点となる「熊野川温泉さつき」前までパレードが行われました。その後、選手がスタート地点に集合。新宮市熊野川町を舞台とする「赤木川清流コース」は、知事の号砲で選手が一斉にスタートし、熊野川支流沿いの1周16.3kmのコースを7周するレースでその速さが

競われました。

沿道にある市立熊野川中学校の全校生徒21名が学校前で観戦し、選手の巧みなテクニックに歓声を上げていました。

その後、6月3日は三重県熊野市、御浜町を舞台として「熊野山岳コース」、6月4日は太地町を舞台とした「太地半島周回コース」でレースが実施され、沿道に駆けつけた大勢の観客や子供たちの応援などもあり、今年のツール・ド・熊野も初夏の暑さに負けない熱気と興奮に包まれています。



3rdステージの様子（太地半島周回コース）

●ベトナム前国家主席が来県されました

5月29日から30日、ベトナム社会主義共和国のチュオン・タン・サン前国家主席一行41名が、和歌山県内の農業関連企業・施設の視察や関係者との意見交換を目的に来県されました。

5月29日、知事室において、平成27年3月にベトナム農業農村開発省との間で締結した協力覚書に基づき、農水産業分野での協力関係の強化について知事と会談しました。



会談の様子

サン前国家主席は、「仁坂知事と再会できて嬉しい。今回の訪問を契機としてベトナムと和歌山県との協力関係が更に発展するよう願う。」と述べられました。知事は、ベトナム側の農産物検疫制度について県産果実の輸入が進むよう改善を要望し、サン前国家主席から「調査したい」と回答がありました。

会談終了後、サン前国家主席一行は、県果樹試験場や有田市内の農業関連企業と、和歌山市の企業を視察されました。

● ^{はぜろう}“**燐の里 志賀野**” 活性化プロジェクト決定

県は、紀美野町志賀野地区が進める“燐の里 志賀野” 活性化プロジェクトに対して支援を行うことを決定しました。

支援を行う過疎集落支援総合対策事業は、地域住民が行う過疎地域の活性化に向けた取組を後押しするため、本県が全国に先駆けて、平成22年度に創設した事業で、志賀野地域以外にも県内で15の地域が取り組んでいます。同じ形の支援事業を総務省が実施していますが、県の方が早く創設し、この取組を行っています。



ハゼの実

プロジェクト名の“燐”は、ハゼの実から抽出され、和ろうそくや化粧品などの原料として活用されています。志賀野地域は、以前このハゼの実の栽培が盛んでしたが、現在ではハゼ農家1軒を残すのみと担い手不足に悩まされています。近年、この燐の持つ“ススが出にくい”“人体に優しい”といった特質が見直され需要が高まっており、本事業を通じてハゼ栽培の復活に取り組むこととなりました。



移住者向けのお試し住宅

この他にも新たな地域工芸品として“志賀野和紙”の確立を目指した取組や、地域に移住者を呼び込むための活動、地域コミュニティ活性化を目的としたイベントの開催などが計画されています。

県は、これらの活動を通じて志賀野地域に活力を取り戻し“志賀野”という地名をいつまでも残していこうという志賀野地域の皆さんの思いを後押ししていきます。

● **由良港防波堤整備起工式を開催しました**

「津波から『逃げ切る！』支援対策プログラム」に基づく津波対策の一環として、由良港に建設する防波堤の起工式を開催しました。

5月27日に町立由良中学校体育館で開催した起工式には約300名が出席。知事は、「逃げ遅れ対策として防波堤で津波を小さくしていきたい」と述べました。



由良中学校体育館にて

工事は、平成36年度中の完成をめざしており、この防波堤が完成することにより、地震津波から背後の地域の浸水を少なくし、被害を抑え、早期の復旧・復興につなげられます。また、平常時は、港内の静穏度が高くなり、停泊する船の安全性が向上します。

●追手門学院大学と就職支援協定を締結

県では、県外の大学に進学した学生のUターン就職や、県外出身者学生のIターン就職を促進するため、平成28年5月から県外の大学と就職支援に関する協定を締結しています。

このたび、5月18日に、追手門学院大学（大阪府茨木市）と就職支援協定を締結しました。これにより相互の連携、協力を行い、学生の和歌山県内企業への就職活動を支援していきます。なお、本県の就職支援協定は同大学で7件目となります。



川原学長と

学生が、就職を考える際に、できるだけ和歌山県の情報が耳に届くように、また、大学で行われる就職ガイダンスや企業説明会の際に、和歌山県の情報をどんどん学生に出してもらえようような機会をつくっていただき、県内企業の人材確保につなげたいと考えます。

●平成29年度「わかやま森林と樹木の日」記念行事を開催しました

県では、平成23年に開催された第62回全国植樹祭をきっかけに、緑や森林の重要性を再認識し、後世に伝えていこうと、「和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例」を制定しています。

その中で、県民みんなで和歌山の森林や樹木を守り育て、緑豊かな和歌山を将来に引き継いでいくために、5月22日を「わかやま森林と樹木の日」と定めています。



記念植樹の様子

今年度は5月21日（日）に、かつらぎ町の花園新子森林公園で記念行事を開催し、同日、和歌山県緑化功労者の表彰を行いました。



功労者表彰式の様子

和歌山県緑化功労賞は、同条例に基づき、森林及び樹木を守り、又は育てる活動について、特に顕著な功績があった方や団体を顕彰するものです。

本年度の受賞者は、煙樹ヶ浜保安林保護育成会、公益財団法人熊野林業、特定非営利活動法人南紀こどもステーションの方々と、それぞれの地域、分野での熱心な活動が高く評価されました。

●「神戸和歌山県人会」総会が開催されました

全国的に季節外れの暑さとなった5月21日、ホテル北野プラザ六甲荘において、平成29年度神戸和歌山県人会総会が開催されました。

増田徳七会長代行から、「若い人にも魅力ある県人会づくりに努めたい」と挨拶があり、その後、昨年9月に亡くなられた小畑隆司会長に黙祷が捧げられました。

和やかに会は進み、紀伊藤白鈴木会会長の鈴木勲さんから、海南市藤白神社が鈴木姓のルーツとされることについてご紹介がありました。鈴木姓といえば神戸の近代化の礎を築いた「鈴木商店」が有名で、皆さん興味深く耳を傾けておられました。

後半のアトラクションでは阿波踊り神戸連のみなさんの軽妙な踊りが披露され、会員の皆さんも加わって踊りの輪が会場一杯に広がり、当日開催されていた神戸祭りの賑わいに負けないくらいの盛り上がりとなりました。

神戸和歌山県人会の皆さんには、ふるさと納税などいつも和歌山を応援いただき感謝申し上げます。



神戸和歌山県人会の皆さん

●「堺和歌山県人会」総会が開催されました

6月4日、堺和歌山県人会第56回総会・懇親会がホテル・アゴーラリージェンシー堺において、開催されました。

懇親会の冒頭、亀谷忠夫会長が、出席の方々に会の運営へのご協力に対する感謝の念とともに、「京奈和自動車道の開通や第二阪和国道の開通により道路のネットワークが大幅に強化された。和歌山に帰る時間が短縮され、誠にありがたく思っている」と述べられました。

今年のアトラクションは、堺熊本県人会のご厚意で、天草ハイヤー音頭と炭坑節の踊りをご披露していただき、会場は非常に盛り上がりました。

堺和歌山県人会の皆さんには、ふるさと納税などいつも和歌山を応援いただき感謝申し上げます。



会長ご挨拶

●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の案内

ふるさと和歌山応援寄附は、取組を始めて今年で10年目に入り、お陰をもちまして、延べ約4,300名の皆さんから2億7千万円近くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

この制度は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策」、「南紀熊野ジオパークの推進」など御指定いただいた9つの分野で活用させていただいております。

また、御寄附につきましては、郵送や振込みで行うことができますが、クレジットカードで行う場合は、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」(<http://www.furusato-tax.jp/>)のサイト上で、簡単に申込みとクレジットカードによる決済を行うことができますので御利用ください。



○寄附金控除のしくみ

(例)

寄附金10,000円の場合		
所得税 約800円	住民税 約7,200円	適用下限額 約2,000円
← 控除額合計約8,000円 →		

全額控除される寄附金額の目安

自己負担額 2,000円を超える金額が全額控除される寄附金額の目安は右表のとおりです。

【注意】

下の表はあくまでも目安としてお考えください。

単身者の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	31,000円
400万円	46,000円
500万円	67,000円
600万円	84,000円
700万円	118,000円
800万円	141,000円
900万円	164,000円
1,000万円	188,000円
1,500万円	394,000円
2,000万円	572,000円

夫婦、子 2人の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	4,000円
400万円	17,000円
500万円	33,000円
600万円	53,000円
700万円	75,000円
800万円	109,000円
900万円	132,000円
1,000万円	157,000円
1,500万円	355,000円
2,000万円	532,000円

～7月1日から返礼品の制度が変わります。～

総務省からすべての自治体に対して、返礼品の調達価格を寄附額の3割以下に抑えるよう見直し要請があり、この度、和歌山県でも返礼品の内容を変更することとしました。

1万円以上の御寄附をいただいた方には、プレミアム和歌山の事業者から御協力をお願いした41品目の返礼品の中から1品をお選びいただけます。

また、インターネット限定で、2万円以上の御寄附をいただいた方には、41品目又は特別メニューとして、和歌山特産の果物や熊野牛から1品をお届けします。果物は期間限定となり、秋には「温室新秋柿」や「木熟みかん」、冬には「苺(毬姫様)」も予定していますので、和歌山県が誇る優良産品(プレミアム和歌山)を是非御堪能ください。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

お礼の品一覧

6月末まで、2品
お選びいただけます！

お知らせ

1 	2 	3 
紀州五代梅 はちみつ梅 550g 紀州五代梅は、紀州産完熟南高梅をひとつ一つ大切に漬け込み熟成させた塩分10%のはちみつ梅干で五代庵を代表する梅干です。 【(株)東農園】	幸いろいろ 幸梅漬・しそかつお梅 紀州南高梅 各400g 人気の幸梅漬としそかつお梅(南高梅)のセットです。 幸梅漬は、はちみつ入りのうす塩風味で「池本」秘伝の美味しさです。 しそかつお梅は、しそかつおぶしであっさりともろやかな仕立てです。 【(株)池本商店】	熊野古道を訪ねて はちみつ入り味梅 紀州南高梅はちみつ味(塩分約8%) 500g 紀州産の南高梅を国産蜂蜜で漬け込みました。梅の酸味と蜂蜜の甘さが絶妙です。 【(株)いなみの里梅園】
4 	5 	6 
紀州五十五万石木箱 550g 木箱入り 当社独自の製法で、こんぶのお出汁で丹念にまろやかな味わいに仕上げた逸品です。 【河本食品(株)】	みなベセット ふくじゅうめ250g 1個 永遠250g 1個 梅黒酢290ml 1本 人気商品のふくじゅうめ250gと蜂蜜で漬け込んだ永遠250gと那智勝浦の黒酢と南高梅で漬け込んだ梅黒酢がセットになった商品です。 ふくじゅうめは塩分約10%、永遠は塩分約8%。梅黒酢は希釈タイプなので、水で薄めて飲んでください。 【(株)紀州本庄うめよし】	紀州南高梅 夢葵 彩の舞 はちみつ梅(塩分約8%)4個・しそ漬梅(塩分約14%)4個 昆布包み梅(塩分約8%)4個・桜葉包み梅(塩分約8%)4個 甘くまろやかな「はちみつ梅」、しその風味豊かな「しそ漬梅」、こんぶ出汁入り調味液で漬けた梅を更に白板昆布で包んだ「昆布包み梅」、はちみつ梅を桜葉で包んだ香り際立つ「桜葉包み梅」、4つのこだわり梅を詰め合わせました。 【(株)紀和農園プロダクツ】
7 	8 	9 
はちみつ仕立て「極」 大粒(4L)の梅干し 12粒 1粒1粒心をこめて包まれた大粒の梅干しは、すっぱさを抑えたまろやかな味。ジューシーな梅の果肉とはちみつの甘さが互いを引き立てます。 【(株)勝僖梅】	紀州みなべ南高梅 雪どけ 調味梅干800g(塩分8%) 環境にやさしい農法に取り組み、完熟南高梅を使用し製造から販売にいたるまで自社で行い、安心・安全な商品作りを行っています。雪どけは、甘口で食べやすく、お子様からご年配の方まで幅広く愛されており、ギフト商品としても大変喜ばれております。 【ふたばの梅干】	紀州南高梅 不動の梅 梅干し(うす塩味) 850g 紀州南高梅の中でも、大粒で特に上質な梅干のみを使用し、当店一番人気の「うす塩」に仕上げました。梅干本来の味わいと程よい甘みで、創業以来、幅広い世代の皆さまに支持されています。この機会にぜひご賞味ください。 【(株)不動農園】

10	11	12
		
自慢の梅干 白龍梅(塩分約12%)430g 和み梅(塩分約5%)430g	うめ・きんかんドリンクセット(まるごと果実入り) うめドリンク10本 きんかんドリンク10本	100%ピュアジュース 100%ピュアジュース180ml 10本セット みかん4本 きよみ・不知火・はっさく各2本
大切に育てた自家梅園産南高梅を漬込みました。白龍梅は、梅本来の味が生きた上品なうす塩の梅干。ご飯によく合います。和み梅は、蜂蜜をたっぷり使ったかなり甘口の梅干。お茶請けにもピッタリです。どちらもぶつくりと果肉まで柔らかい梅の実です。	ドリンクの中に「うめ」と「きんかん」の果実をそのまま一個入れました。紀州特産の肉厚な梅と紀州名産の丸きんかんジュースのセットです。	和歌山県産無添加ストレートジュース。味が濃く、のどごしスツクリ。4種ともモンドセレクション受賞。世界が認めた味をぜひご賞味ください。
【横山食品(株)】	【アセロラフーズ】	【(株)伊藤農園】
13	14	15
		
大師の水 500mlペットボトル 24本	濃厚みかんジュース・ゼリー詰め合わせ 味ーしぼり200ml 4本 味ージュレ150g 3個	Wakayama Ginger Ale アソートセット 生姜丸しぼり Wakayama Ginger Ale 6本 梅ひと雫 Wakayama Ginger Ale 6本
この「大師の水」は世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」として名高い高野山のふもとで汲み上げた綺麗な水です。「大師の水」は軟水(硬度41mg/L)で、日本茶、紅茶、珈琲、ウイスキーの水割りに好相性です。	有田みかんジュースとゼリー(ジュレ)の詰め合わせです。濃厚なみかんだけを搾り、糖度12度以上に仕上げた「味ーしぼり」。水を一滴も加えずに作った果汁91%の濃厚みかんゼリー「味ージュレ」は、ビンのまま凍らせてシャーベットとしても召し上がって頂けます。	和歌山県産の生姜を丸しぼりし、そのシロップと炭酸を合わせた本格派ジンジャーエールです。生姜特有のピリツとした喉越しや、南高梅をブレンドしたまろやかな味を楽しんでいただけます。
【紀州紀文会(有)】	【(株)早和果樹園】	【わかやま農業協同組合】
16	17	18
		
生姜ちっぷす詰め合せ 生姜ちっぷす50g 6袋	天狗力餅 天狗力餅20個入	紀州銘菓かげろう・柚もなかセット かげろう20個入・柚もなか18個入
和歌山産の厳選された生姜を使用。「ピリツとした味わい」、「パリツとした食感」が楽しめるチップスです。	表千家の茶会にも使われた銘品「天狗力餅」は、北海道十勝産小豆を使った漉しあんを、求肥餅でつつんでいます。ふ焼き煎餅で挟んでお召し上がりください。	サクッふわの生地と、優しい甘さのクリームが口溶けの良い「かげろう」と、職人による手作りのもなか生地と、手作業で皮を剥いた柚餡が香り高い「柚もなか」の紀州銘菓セットです。
【カフェモコ】	【菓匠 錦花堂】	【(株)福菱】

			
19 柚梅(ゆうばい)セット 古城梅10ヶ入・むろの柚10ヶ入 1組セット 紀州特産の梅・柚子を形どった一口羊羹です。古城梅には天然しそ・梅肉、むろの柚子には天然ゆずを入れています。文左の郷土菓子は種々の材料が良く調和を保ちながらかもし出すほのぼのとした、手作りならではの味です。 【文左】	20 本竹皮包み羊羹セット 塩羊羹1本 柚子羊羹1本 紅葉屋本舗の羊羹は「美味しい」「安全」「安心」「自然」を貫き、添加物は一切使用せず厳選された素材だけを使用し、一本一本職人の手で真心込めて丁寧に作り上げております。外はパリッと中はしつかりの昔ながらの羊羹2本セットです。柚羊羹はモンドセレクション金賞受賞。 【紅葉屋本舗】	21 一六八 実 4個入りセット あらかわの桃×1個 三宅柑×1個 干し柿×1個 温州みかん×1個 濃厚で香りの高いあらかわの桃をはじめとした、和歌山産の厳選された果実をしつかりと味を感じて頂けるように仕上げた4種類のアイスです。ぜひ、ご自分へのご褒美にいかがでしょうか。 【(株)カワ】	22 くろさわ牧場のアイスクリーム ミルク アイスクリーム ミルク 90ml 8個 ミルク感あふれる、牧場アイスクリーム。「黒沢牧場のアイスクリーム」のおいしさの秘密は、放牧されている牛の搾りたて牛乳を100%使っていること。牧場にしかできないフレッシュなミルク感を味わってください。 【農事組合法人 黒沢牧場】
23  まるごと田村みかんゼリーセット まるごと田村みかんゼリー94g 12個 和歌山県有田地域のブランドみかん「田村みかん」を使ったゼリーです。やわらかな弾力の果肉はジューシーで、豊かな甘み特徴です。 【(株)小南農園】	24  フルーツコンポートセット コンポート丸ごと温州みかん350g×1 コンポート房ごはっさく350g×1 わかやまポンチ140g×2 和歌山県産の梅甘露煮、温州みかん、八朔、若桃を上品な甘さのジュレで包み込んだ「コンポート」です。フルーツの自然な甘みと味わいをお楽しみください。日本ギフト大賞和歌山賞受賞。 【(株)ふみこ農園】	25  灰干しさんま 灰干しさんま 3L 8尾 脂の乗った鮮度の良い魚だけを使用し、紀州伝統の灰干製法で魚の素材を生かし、空気に触れず酸化を抑え旨みを引き出します。無添加で新鮮乾燥の干物です。無添加で安全な商品は、お子様からお年寄りまで食べて頂けます。 【(有)西出水産】	26  紀州名産なんば焼 紀州名産なんば焼300g 3枚 化粧箱入り 紀州地方で江戸時代から南蛮国より伝わる焼き蒲鉾です。近海で獲れた魚を主原料に、「すり身」にして昔ながらの製法で丹念に焼き上げており、魚の素材を生かしたまろやかな味が格別です。 【西山蒲鉾店】
27  銀鱈の輝 釜揚げしらす・ちりめん山椒 釜揚げしらす130g×2 ちりめん山椒120g×2 化粧箱入り 新鮮で良質なしらすを新鮮なまま、高温の厚釜で躍らせるように釜揚げした「釜揚げしらす」。「ちりめん山椒」は、有田川町清水産のぶどう山椒と湯浅の香り高い豊かな醤油を使用。丹精込めて丁寧に炊き上げ、甘さを控えた上品な一品に仕上げました。 【まるとも海産】	28  海桜鮭もちピンチョウと海の生ハムセット もちピンチョウ 100g×1パック 海の生ハム 50g×3パック 100本に数本しか出現しない「もちピンチョウ」。モチモチとした身質のものを「目利き」の技術で選別し、簡単・手間なし・失敗なしの「海桜鮭」の技術で冷凍いたしました。国際線ファーストクラス機内食にも採用されている「海の生ハム」ともにお届けします。 【(株)ヤマサ脇口水産】	29  鯨大和煮セット 鯨大和煮200g 3個 太地港で水揚げされた近海産の鯨を使用し、甘辛く昔ながらの味わいに仕上げました。 【(有)カネヨシ由谷水産】	30  紀州勝浦まぐろCAN(マグロ経済学シリーズ) まぐろ水煮90g 3缶 まぐろオイル漬け 90g 2缶 まぐろオイル漬け 180g 3缶 まぐろの町、那智勝浦発！！紀州勝浦産まぐろ(ビンナガマグロ)を使用し、新鮮なままで身をさばいて缶詰にすることで独自の食感と味わいのある缶詰が出来ました。 【和歌山県漁業協同組合連合会 勝浦市場】
31  鯖棒寿司 鯖棒寿司 1本 その日の気温・鯖の状態によって塩と酢の配合を変えて丁寧に締めた脂ののった鯖と、30数年間に渡る当社独自の秘伝のタレで炊き上げた肉厚昆布、コシヒカリ最高級ランクのシャリが一對となり絶妙な味わいを醸し出しています。昆布は外さず一緒に召し上がってください。 【(株)笹一】	32  すさみイブタ「イブ美豚」 ウインナー・ハムセット あらびき110g×1 チョリソー110g×1 ホワイト110g×1 モモハム150g×1 ジャーキー30g×1 和歌山県すさみ町にある自社農場で生産したクセのない甘みのあるイブタ「イブ美豚」を自社工房で職人がハム・ウインナーに加工しました。 【(株)イブファーム】	33  和歌山 丸高中華そば 丸高中華そば3食入 2セット 4食入 1セット 昭和15年、先代が和歌山市高松で始めた屋台店が発祥。コクがあるのに、さっぱりとした味に仕上げました。 【(有)柏木製麺所】	34  紀州うめたまご 紀州うめたまご 18玉入り 日経ウーマンライフ全国卵かけ御飯コンテストで優勝！紀州梅酢で健康的に育った鶏が産んだ紀州うめたまご。生でこそ、その違いを味わって頂きたい！和歌山県が誇る高級ブランド卵です。 【(有)中田鶏肉店】

35  金山寺味噌 金山寺味噌 330g折入り 2個 450gタル入り 1個 和歌山県に古くから伝承されてきた、米、はだか麦、大豆、白瓜、茄子、生姜、しそを混合した、野菜たっぷりの「そのまま食べるお味噌」です。 【川善味噌(株)】	36  昔造り紀州金山寺味噌 昔造り紀州金山寺味噌600g 2個 純国産の精選した米、大麦、大豆を赤穂のにがり塩で仕込み、明治39年の創業以来変わらぬ製法でうり・なす・生姜・しそとともに半年間熟成しました。 【(株)やまだ】	37  湯浅醤油詰合せ 濁り醤油 720ml 1本 湯浅たまり900ml 1本 歴史的な背景を忠実に再現した本醸造生醤油濁り醤油720mlと松材の薪で火入れした手づくり醤油900mlとの正真正銘手づくり湯浅醤油2本セット詰合せです。 【(株)角長】	38  熊野黒潮本舗 塩セット 黒塩・梅塩・ゆず塩 各2個ずつ 炭塩 1個 南紀熊野灘の海水を汲み上げ、釜で煮詰めて天日干しで仕上げた本格的な手づくり塩です。色々な味をご賞味下さい。 【熊野黒潮本舗】
37  湯浅醤油詰合せ 濁り醤油 720ml 1本 湯浅たまり900ml 1本 歴史的な背景を忠実に再現した本醸造生醤油濁り醤油720mlと松材の薪で火入れした手づくり醤油900mlとの正真正銘手づくり湯浅醤油2本セット詰合せです。 【(株)角長】	38  熊野黒潮本舗 塩セット 黒塩・梅塩・ゆず塩 各2個ずつ 炭塩 1個 南紀熊野灘の海水を汲み上げ、釜で煮詰めて天日干しで仕上げた本格的な手づくり塩です。色々な味をご賞味下さい。 【熊野黒潮本舗】	39  世界一統大吟醸「熊楠」 大吟醸清酒「熊楠」720ml 和歌山で生まれた、世界の知の巨人南方熊楠由来の蔵が醸した大吟醸酒です。 【(株)世界一統】	40  純米吟醸「紀伊国屋文左衛門」 純米吟醸「紀伊国屋文左衛門」1.8L 化粧箱入り 「山田錦」と「雄町」を丹念に醸し、穏やかな吟醸香と、やわらかにふくらむ米の旨味、キレのある飲み口が特徴です。 【中野BC(株)】
41  有田みかんスパークリングワインセット みかんシュワツ酒330ml 6本 みかんの本格スパークリングワインです。有田で育った美味しいみかんを原料に酵母菌で大切に育てたワインをベースにスパークリングに仕上げました。アルコール度数も6%と飲みやすく、ポンッと開けてそのまま飲み頂ける可愛い小瓶も魅力です。 【花野食品】			

★お問い合わせ・申込窓口★

〒640-858

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 西岡、嶋村、岡田

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

☆お問い合わせ窓口☆

〒102-0093

東京都千代田区平河町 2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 宮脇

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

イベント情報(6月中旬～7月中旬)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
6/15～ 9/15	夏の味覚まつり	すさみ町・観光協会加盟 店・宿泊施設	すさみ町観光協会 0739-34-3200
6/20～ 9/15	イカの博物館	すさみ町・JR 周参見駅 すさみ町民コミュニティプラザ	すさみ町観光協会 0739-34-3200
6/24 6/25	野生ラン展	岩出市・和歌山県植物公園 緑化センター	和歌山県植物公園緑化 センター 0736-62-4029
6/24 6/25	第 22 回 ビーチラグビー白浜大会	白浜町・白良浜	白浜ビーチフットボール実行委 員会 0739-42-4686
6 月下旬	夏越大祓式	田辺市・熊野本宮大社	熊野本宮大社 0735-42-0009
6 月下旬	茅の輪くぐり	九度山町・慈尊院	丹生官省符神社 0736-54-2754
7 月上旬	海開き	和歌山市・片男波海水浴場 ほか県内各所	片男波海水浴場管理運 営委員会 073-447-9080
7 月上旬	たなばた祭り	和歌山市・淡嶋神社、紀三 井寺、藤白神社	淡嶋神社 073-459-0043
			紀三井寺 073-444-1002
			藤白神社 073-482-1123
7 月中旬	扇立祭	新宮市・熊野速玉大社	熊野速玉大社 0735-22-2533
7 月中旬	那智の滝大しめ縄張り替え	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
	熊野那智大社 1700 年例大祭		
	那智の火祭・那智の田楽		
7 月中旬	くじらに出会える海水浴場	太地町・くじら浜海水浴場	太地町産業建設課 0735-59-2335
7 月中旬	高山寺夏祭り	田辺市・高山寺	高山寺 0739-22-0274



那智の火祭

今年は、熊野那智大社の御創建 1700 年の
年になります。各種行事も開催されますので、
是非おいでください。

自然・風物情報(6月中旬～7月中旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
6月中旬	南高梅 出荷ピーク	印南町・集荷場	J A 紀州みなべいなみ梅部会 0739-72-1174
6月中旬	新ショウガ収穫ピーク	和歌山市	J A わかやま 073-471-3731
6月中旬	「あら川の桃」出荷始まる	紀の川市・桃山町	あら川の桃振興協議会 0736-66-1259
6月下旬	ノウゼンカズラ見ごろ	田辺市・新庄総合公園	田辺市管理課 0739-26-9966
6月下旬	ササユリ見ごろ	田辺市・本宮町	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
6月下旬	大賀ハス開花	美浜町・大賀池 有田市・箕川	大賀ハス保存会 0738-22-7309
			有田市産業振興課 0737-83-1111
6月下旬	サングの産卵	串本町・ 串本海中公園センター	串本海中公園センター 0735-62-1122
6月下旬	ブルーベリー狩り	かつらぎ町・観光農園 広川町・浅井農園	かつらぎ町観光協会 0736-22-0300
			浅井農園 0737-62-3873
7月上旬	ハマユウ開花	和歌山市・番所庭園 白浜町・白良浜	番所庭園 073-444-6533
			白浜町観光課 0739-43-6588
7月上旬	ハマボウ開花	御坊市・日高川河口南部	御坊市商工振興課 0738-23-5531
7月上旬	梅の天日干しはじまる	みなべ町各地	JA 紀州みなべいなみ梅部会 0739-72-1174
7月中旬	ハス開花	岩出市・ 植物公園緑化センター	植物公園緑化センター 0736-62-4029



今月もホテルとアジサイの関連情報を次にまとめています。

※ホテル、アジサイに関するもの(6月中旬～)

＜ホテル関連＞

期間	行事名	場所	問い合わせ先
5月下旬 ～6月下旬	ほたる観賞	広川町下津木・上津木地内	広川町産業建設課 0737-23-7764
5月下旬 ～6月下旬	ゲンジボタル観賞	有田川町内各地	有田川町商工観光課 0737-52-2111 しみず温泉あさぎり 0737-25-1181
6月上旬 ～中旬	玉川峡・根古川・東谷川・ 田原川のホテル	橋本市内各所	はしもと広域観光案内 所 0736-33-3552
6月中旬 ～7月上旬	玉川峡ほたる	九度山町・玉川峡周辺	九度山町観光協会 0737-83-2019

＜アジサイ関連＞

5月下旬 ～6月下旬	仁平寺のアジサイ	有田市・仁平寺	有田市産業振興課 0737-83-1111
6月上旬 ～下旬	養翠園のアジサイの見頃	和歌山市・養翠園	養翠園 073-444-1430
6月上旬 ～下旬	和歌山市森林公園の アジサイの見頃	和歌山市・ 和歌山市森林公園	和歌山市農林水産課 073-435-1049
6月上旬	あじさい見ごろ	かつらぎ町・ 花園あじさい園	花園あじさい園 0737-26-0888
6月中旬	あじさい祭り	有田川町・ 吉原若者広場	有田川吉原あじさい祭 実行委員会 0737-32-3695
6/18	恋野あじさいまつり	橋本市・ 恋し野の里あじさい園	恋野地区公民館 0736-33-2458



～編集後記～

6月に入り、和歌山県を含む近畿地方は、梅雨入りとなりましたが、今のところ、まとまった雨もなく、過ごしやすい日々が続いております。とはいえ、やはり暑いですね。真夏を観測する地域もでてきて、そろそろ熱中症対策なども考えていかなければと思っています。皆さんも、体調管理にはくれぐれもお気を付けください。

数年前からになりますが、6月に入ると、家の近所の用水路にホタルが舞っているのを見かけるようになりました。家の周辺は、田んぼがあるとはいえ、一般的には住宅地と呼ばれるような場所なのですが、地域の皆さんの取組などによるものか、以前と比べ水がきれいになっているようで、この季節になると、夏の夜の暗闇に小さな点と線が踊り、周囲をほのかに照らします。

そんな情景をベランダから眺め、ほっと一息。暑い夏に涼を感じるひとときです。

話は変わりまして、先日開催された、全日本大学野球選手権大会に和歌山大学硬式野球部が出場し、国立大学としては7年ぶりとなるベスト8入りを果たし、大学野球界をわかせました。同部は、近畿学生野球連盟1部の春季リーグを15連覇中であった奈良学園大学を破り、大正13年の創部以来、初のリーグ優勝を成し遂げ、選手権大会への切符を手に入れました。その快進撃の勢いに乗って神宮の杜を一陣の風となって駆け抜けた和歌山大学硬式野球部の今後さらなる活躍に期待しましょう。

先日、4月1日に開通した国道480号鍋谷峠道路・父鬼バイパスを通ってきました。かつては、大阪と和歌山の壁と呼ばれる通行の難所でしたが、今やトンネルが開通し道路が広くなり、カーブも少なく運転は快適でした。通行量もかなり多く感じられました。近隣にお住まいの皆さんは、新しくなった道路を通して和歌山まで足を伸ばされてみてはいかがでしょうか。

今後も引き続き、和歌山の素晴らしい名所や和歌山ならではの取り組みを紹介できるよう頑張ってまいります。

知事室秘書課長 南木 芳亮

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので是非御覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2017年(平成29年)6月 No.110
和歌山県 秘書課
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1
TEL 073-441-2022